

広島大学高等教育研究開発センター第49回研究員集会第2部『「責任ある・使命ある大学」の将来像を語ろう!』

セッション2「私の主張:高等教育のあるべき姿」

「データサイエンス時代に各自が課題解決できるようになる教育の姿」

椿 美智子

電気通信大学(情報系)→東京理科大学経営学部(理系大学の中の経営系)

課題解決が重要な時代 ⇒ **課題は複雑**で、目標を決めて、線形に、階段を着実に登っていけば、問題が解決するほど簡単な問題ではない。

データ・サイエンスの場合の学習 ⇒ **数学力** ⇒ **統計手法・機械学習手法** ⇒ **応用(カリキュラムの充実と教育・学習効果検証)**

情報系(数学力, 統計手法・機械学習手法, プログラミング力) ← 理系

+ **文理融合が必要** ⇒ **課題解決**

経営系(経営戦略, 組織論, マーケティング, 企業の会計指標) ← 文系

失敗を乗り越える力(現代の学生さんの弱み)

答えが無いことが怖い, 答えを求める ← 受験, GPA 評価制度

⇒ しかし、一つの山を越えると、失敗を恐れずに、**興味**を持って、進められる
数学力を乗り越えて、**自分たちで調べてきて最新手法**も使いこなせるようになる
(自分たちはできるかもしれないという**自信**) ← ただし、放っておいてこのようにはならない。(教育の力)



概要

DXの重要性が高まっている現在は、IT技術の発展に伴うビジネス構造の変化が様々な分野で起こっており、データ産業革命とも呼ばれている。この急激な変化の中、この時代で活躍できるような、未来を切り開いていけるような人材を育てていかなければならない。それを実現させるカリキュラムを構築し直し、新しい時代の教育論を研究し、学問上の必要な知識をきちんと修得した上で、社会・企業の課題解決ができるようになる教育を目指すべきだと考える。

レコメンテーション・エンジン 2021年11月刊行 マイケル・シュレージ(著)、美智子(監訳)、杉山千枝・山上裕子(訳)、ニュートンプレス

- 第1章 レコメンテーション・エンジンとは何か
- 第2章 レコメンテーションの起源
- 第3章 レコメンテーションの歴史
 - 1992 MIT, ミネソタ大学:自動化協調フィルタリング「GroupLens」 研究目的のシステム
 - 1994 Yahoo!検索エンジン
 - 1997 Google ドメイン登録 Amazon.com 自動化, 個別化 ← 「GroupLens」
 - 2000 Netflix 「Cinematch」 導入
 - 2000 TripAdvisor
 - 2002 LinkedIn 開設
 - 2004 Facebook サービス開始
 - 2006 YouTube を Google が買収
- 第4章 レコメンテーション・エンジンの仕組み
- 第5章 レコメンテーションのエクスペリエンス
- 第6章 レコメンテーションの革新者たち
- 第7章 レコメンテーションの未来

